

数学

教諭 富田 佳貴
Tomita Yoshiki



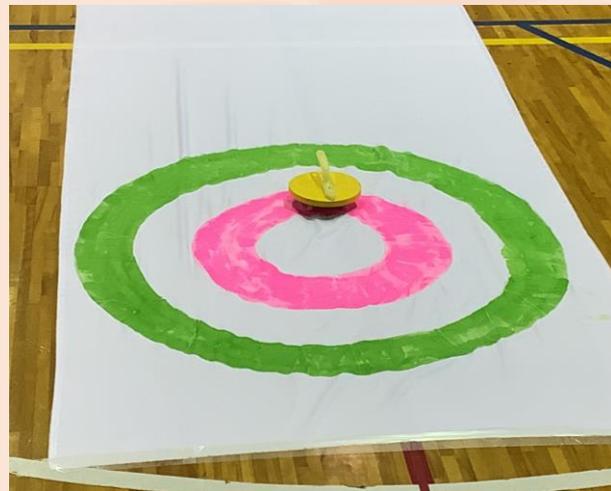
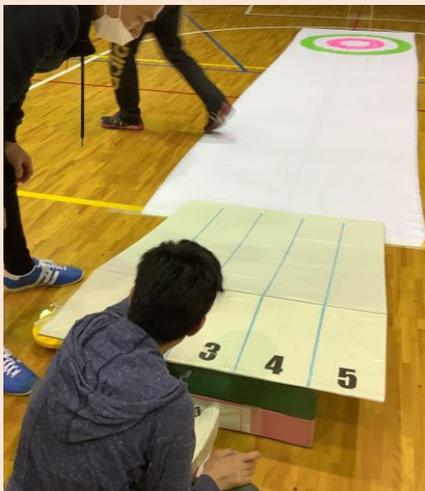
データを活用しよう

中学部 2～3年 自立活動を主とする教育課程

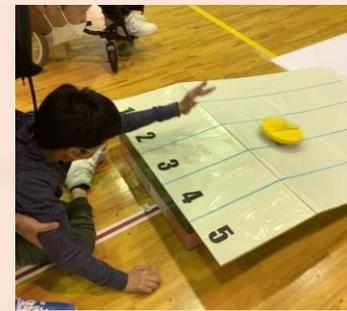
「フロアカーリング」のストーンを、どうすればもっとハウスに近付けられるか、データを取りながら改善していきました。

ストーンは、傾斜台やゴムを使って投じます。傾斜台の高さやゴムを引く位置を数字で表すことで、生徒にとって記録を比較しやすく、高さや位置を教員に伝えやすくなるようにしました。

生徒たちは、ストーンをハウスに近付けるために、データを活用することが有効であることを学びました。



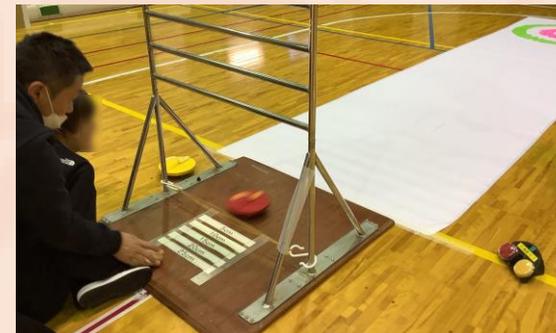
● 傾斜台の高さと投じる位置を調整する。



3のカードにタッチ！
(3段の高さで投じます)



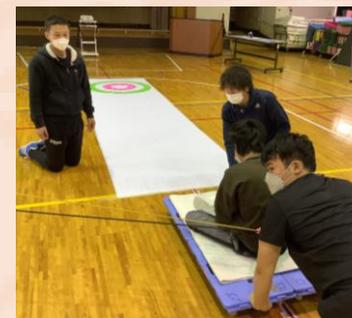
● ゴムを引く位置を調整する。



5cmの位置でピンポン♪
(5cm引っ張ります)



● 発射台の位置を調整する。



台車に乗って、ストーンの動きと進む距離をイメージします。発射台からハウスまでの距離を確認し、身振りや発声で発射台の位置を伝えます。